河北新報　第二朝刊　平成21年（2009年）4月14日（火曜日）
©河北新報社 2009

NIE特集

Newspaper In Education

毎月第2・4火曜日発行

どきどき小学生

湊二小

学校名　石巻市立湊第二小学校　　校　長　元木　幸市
所在地　石巻市大門町2の2の1　　児　童　238人
電　話　0225（95）8361

うきうきキャンバス

さつまいもおいしいな
2年・今野亮則

パン屋さん　4年・太田悠菜

習字「ありがとう」　4年・佐藤亜幸

海の目のおっちゃん
3年・大槻真子

校歌作った古関裕而ってどんな人？

大作曲家 名作数多く

夏の甲子園 大会歌も

知り隊

わたしたち湊二小の校歌を作ったのは、数多くの名曲を生み出した作曲家の古関裕而さん（一九〇九―八九年）だそうです。いったいどんな人なのでしょう？　調べてみました。

古関さんは福島県に生まれ、レコードを聴いたり、卓上ピアノを弾いたりして育ちました。二十歳のとき、作った作曲コンクールで二位になり、作曲家として生きることを決めました。古関さんの作曲総数は千曲に上るほか、六四年開催の東京オリンピックの入場行進曲「オリンピックマーチ」を作曲したことで有名です。

そのほかにも夏の甲子園の大会歌「栄冠は君に輝く」などスポーツに関係する曲や、ラジオ番組、映画の主題歌などをたくさん作曲しています。

古関さんは、福島県をはじめ、多くの学校の校歌も作っています。古関さんが校歌を作った宮城県の小学校のうち、今も残っているのは、わたしたちの湊二小だけです。

次に、校歌が発表された章オリンピックの入場行進曲「校歌制定式について調べました。校歌制定式は、一九六三年九月二十八日に校庭で行われました。古関さんは来ませんでしたが、当時の責任教師、岡本教諭さんが来校し、歌ってくれました。伴奏は当時在職していた玉井恵先生がオルガンで行い、盛大な気持ちを忘れず教室で祝賀会も盛大に行われたそうです。

古関さんが作った校歌の発表会と祝賀会の様子

さて、ここで疑問です。なぜ古関さんのような有名な作曲家が、わたしたちの学校の校歌を作ってくれたのでしょうか？

そのわけは、当時、勤務していらっしゃった菅野郁子先生がご存じでした。当時PTA役員だった子章さんという方が以前レコード会社に勤めていて、その会社の専属作曲家だった古関さんにお願いしたそうです。

古関さんは作曲のために来校し、この辺りを見て回り、曲のイメージを持ち帰りました。「海」「山」「川」のある、この地域をとう思ったのでしょう。

◇　◇

わたしたちの校歌を作った人が、こんなに有名な人だったことにとても驚きました。このことを皆さんに思い、感謝の気持ちを忘れず校歌を歌い継いでいきたいと思います。

文・中村海帆、吉田知将（卒業生）

教え隊　クリーン大作戦

ごみ拾い 街きれいに

クリーン作戦に参加して落ちている空き缶やゴミを拾う湊二小の子どもたち

わたしたちの学校は、「クリーン大作戦」という活動をしています。活動は、公園内や、マラソンコース、家から学校までの通学路などをきれいにする活動です。わたしたち6年生は、北上川の河口にかかっている日和大橋の下をきれいにしに行きました。そうしたら、空き缶や紙ごみなどが落ちていました。古い冷蔵庫など大きな物もありました。わたしは、これを見て自分たちの住んでいる大切な街は、自分たちできれいにしなければいけないと思いました。街をきれいにすることはとても大切だと思います。

文・阿部梗斗、石森千晶（卒業生）

編集後記

わたしたちは、湊二小の校歌を作曲した古関裕而さんについて調べました。校長先生が校歌を作ってくださったり、以前湊第二小に勤めていた先生に来ていただいたりと、調べるのは大変でしたが、とても勉強になりました。

〈編集委員〉阿部梗斗、中村海帆、石森千晶、吉田知将（卒業生）

障害者 手助けしたい

高齢者 大切にしよう

言い隊

ぼくは、学校の「総合の学習」で福祉体験をしました。車いす体験やアイマスク体験をして目の不自由な人や足が自由に動かない人たちが安心してくらせるように手助けしていきたいと思いました。

手助けする方法も習いましたが、何となくこれでいいのか不安でした。でも、ぼくが不安だと相手の人は、もっと不安になると思いました。アイマスク体験を教えてくれた高橋さんが右後にもっと、音の出る信号がほしいと言っていました。ぼくは、音の出る信号機や点字ブロックをもっと増やしてほしいと思いました。いろいろな人の立場になって住みよい町にしたいです。

（6年・今野翔登）

わたしは、右巻をお年寄りや、目や耳などが不自由な人に優しい町にしたいです。特にお年寄りに優しい町にしたい。

一人でいるお年寄りや病気のお年寄りが安心して暮らせる町にしたいです。そのためには、わたしは、小学校から、もっとみんなでボランティア活動をしたら良いと思いました。

どんなボランティアかというと、元気かどうか様子を見に行ったり、手伝ってほしいことはないか聞いてみたり、一緒に買い物に行ったりすることです。わたしは、おばあさんが大好きです。いろいろなことを教えてくれます。お年寄りを大切にし、すてきな右巻にしたいです。

（6年・相沢歩）

毎月第2・4火曜日発行

これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ（KOLNET）で見ることができます。